

私が声を失ったのは51歳、現役バリバリの頃でした。
失声後の仕事や生活は不安でしたが『銀鈴会に入会』して既に10年が経ちました。
発声訓練終了後にも訓練士として会員の皆さんと練習に励んでいましたが、
3年前に新たな食道がんが見つかり、術後は食道発声が困難となりました。

訓練士は続けられないと思っていましたが、EL訓練士のお話を頂き、
再び頑張ろうと決意しました。



ELは便利なツールです。でも正しく使わないと雑音となり、相手に不快感を与え兼ねません。

ELの基本的な練習ポイントを紹介します。

- 1) ELを何時でも最適な場所に当てられるようにします。
- 2) 発音（口パク）とELのオン・オフのタイミングを合わせます。
- 3) 話す速度はやや遅めが丁度良いです。
- 4) 雑音の混じらない、相手が聴き易いと感じる音声で会話します。

最後に、食道発声の方も話す状況に応じてELを使い会話を楽しんで見てはいかがでしょうか？

ご興味のある方はいつでもEL教室を覗きにきてください。

心よりお待ちしております。